平成 30 年度

はなみずき　11月号

シャーロット日本語補習学校通信　　2018. 11. 3 補習校事務局

教育目標

あかるく

なかよく

たくましく

「あ、な、た」が大事

今月の予定

11 月 3 日
第1回入学説明会
9:30～11:00
メディアセンター奥

11 月 10 日
もちつき大会準備
会議（クラス委員）
12:15～
メディアセンター奥

11 月 17 日
第2回授業参観
2 校時　幼、小 1･2
3 校時　小 3～小 6
4 校時　中･高等部

11 月 24 日
サンクスギビング休暇

10 月転出　2 名
全校生徒数
141 名

北米南部地区講師研修会に参加して

8 月 18 日から 2 日間、テキサス州マッカーレンでの研修会に参加させて頂きました。 私にとっては平成 28 年に続いて 2 回目の参加でした。指導してくださったのは、ダラス補習校の宮地仁校長先生、ヒューストン補習校の立野　誠之校長先生で、日本から派遣されている素晴らしい先生方でした。 両校とも 500 名近くの児童生徒が在籍し、ダラス校では国際部が 4 クラスもあると知り、とても驚きました。 また、教育研究提携により国語、算数ともに全学年デジタル教科書を使っての授業を行っていると聞き、大変うらやましい気持ちになりました。他州の大規模校では、入学試験を行なっている学校もある事、保護者に念書を頂いている学校もあるそうです。 念書の内容は、「毎日読み聞かせをする」「漢字は、」「会話は、」など基本的なことですが、家庭学習支援の重要な項目です。 さまざまな補習校がある中、今回の研修は、南部地区の日本政府派遣校長がいない小規模 11 校の現地採用の先生方と、教育技術や学習障害･発達障害等について研修しました。 ここに、いくつかご紹介します。

- 静止技術･･･騒がしくなった集団を、いつでも静止できる技術を持つ。
- 見通しや、振り返りを重視･･･めあてを明確にし、最後には、ねらいにどのくらい近づけたのか児童が考える。
- 対話的な学び･･･他者との共同活動や、外界との相互作用を通じて、自己の考えを広げる。

個人的には、この 3 つがとても印象に残りました。どれも私には出来ていない事だからです。シャーロット補習校での教員経験は 10 年を超えましたが、まだまだ学ぶ事はたくさんあると改めて気付くことができました。 意見交換や取り組み方の紹介では、自分の授業に生かせそうな事も多々あり、とても参考になりました。 そして、本校の教員と同じように、教えるという事の難しさを楽しみ、チャレンジする事を面白がり、子供達の成長を、我が子の事の様に喜ぶ多くの先生方に出会えたことは、忘れられない経験となりました。 研修会に参加させて頂き、ありがとうございました。

小学部 6 年担任　ヒギンズ　純子

ぼく･わたしのおすすめ本　　図書室より

今年度 6 月にご案内した「ぼく･わたしのおすすめの本」企画により、みなさんからのおすすめ本が図書室で紹介されていますので、ぜひ図書室へ足を運んでみてください。
読書は「読みたい！」であって、「読みなさい！」ではありません。保護者自身が読書を楽しんでその楽しさを子どもたちに伝えていけるとよいですね。

これからも「 おすすめポップ」でどんどん紹介してください！

★紹介中のおすすめ本★

① 海底 2 万マイル　② 2000 人めのあかちゃん　③ わかったさんのホットケーキ
④ 謎のメールレストラン　⑤ モーツァルトの魔法の笛　⑥ 鉄研ミステリー事件簿

★図書室への「購入希望図書」受付は 11/17 まで★

図書室の「設置箱」に「所定用紙」で提出してください。前年度もみなさんからの購入希望図書の中から 15 冊が、3 学期より図書室に入荷しましたので、この機会をどうぞご利用ください。

図書室にあります

東京 2020 大会「マスコットと〇〇」ポスター応募ありがとうございました！応募作品 5 点から運営委員による審査の結果中学部 3 年木本絢子さんの作品が学校代表に選ばれ、大会組織委員会に送られました

もうすぐ秋のお休み♪

すごいね！みんなの通学路を読んで

小学部３年　黒沢　江美

わたしは、日本へ行って小学校へ通った時、図書室でこの本を見て読みたくなりました。この本には、いろいろな国の子どもたちの学校への行き方が書いてありました。わたしは、学校に行く時、車にのって行きます。本には、ゴムボートにのる人や、山の細い道を歩く人もいました。

わたしが一ばんすきなページは、ハイチのページです。このページは、せい服を着た女の子たちが歩いている写真です。わたしは、みんなが話しながらいっしょに学校へ行くのがいいと思いました。

つぎに、わたしが一ばんむずかしくてあぶないと思ったページは、中国のページです。にもつをもったまま、はしごをのぼったり、おりたりして学校へ行きます。もしわたしだったら、高い所がこわいから学校へ行けないかもしれないです。それから、フィリピンの女の子のページを見てかなしい気もちになりました。どうしてかというと、世界には、学校へ行きたくてたまらないのに、行けない子どもがたくさんいるからです。まずしくて家族のためにはたらかなければならない子もいます。わたしはどんな人もしんぱいしないで学校に行けるようになったらいいなと思いました。

もうひとつおどろいたのは、日本のページです。なぜかというと私の通学路とすごくちがうからです。わたしの日本の通学路は、たくさんビルがあるけれど、なにもこわれてなかったです。このページのことをママにきいたら、じしんがあってつなみがきたからと言われました。おばあちゃんにきいたら、その時、東京のいえでは、おさらがなんまいもわれたよと言われました。そんなじしんの後、家がこわれても、学校に行く人はゆうきがあってえらいと思います。

わたしは学校に行くのが好きです。どうしてかというと、学校には本がいっぱいあることと友だちがまわりにいるからです。それに、国語と算数も習うことができるからです。この本の中の子どもたちも、きっと学校が好きだと思います。本を読んで、わたしが学校へ行くのは、かんたんだけど、たいへんな思いをしながら行く子どもたちもいることがよくわかりました。

自分流枕草子

中学部二年　藤原　唯花

春は日中。きらきらと輝く新緑と色とりどりの花が咲いているのは心地がいい。小鳥やリス、うさぎが庭に遊びに来るのもいとをかし。

夏は夜。一時帰国中、いとこ達と花火をして遊ぶのがいと楽し。また、カエルの鳴き声を聞きながら畳の部屋で眠るのも、田舎に遊びに来たんだなと実感できて、いとこころよし。

秋は夕暮れ。太陽が沈むにつれて、美しい夕焼けが空一面に広がり、夏とはまた違った雲がたなびきたるもいとうつくし。またコオロギや鈴虫などの鳴き声が、涼しい風と共に聞こえるのもいとこころよし。

冬はつとめて。凍てつくような寒さの中、スクールバスのバス停まで歩くのも、冬だなと実感し、いとおもしろし。また、たまに降る雪で学校が休みになるのもいと嬉し。しかし、あまりにも休みが続くとつれづれなり。